

＜財団本部＞アーツカウンシル東京 社会共生担当の主な担当事業について



クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

<https://creativewell.rekibun.or.jp/>

あらゆる人が芸術文化を楽しめる共生社会が実現することを目指し、東京都との共催事業として、2021 年度より実施しています。東京都が定める「東京文化戦略 2030」（戦略 1 プロジェクト 2 「だれもが文化でつながるプロジェクト」）及び東京都歴史文化財団が定める「長期ビジョン 2030」の重点事業として展開します。芸術文化の鑑賞や文化活動の創造の機会を広げ、誰もが楽しく参加できる環境を整え、芸術文化を通じた「ウェルビーイング＝（心の／生活の豊かさ）」のあり方を東京から発信します。

【主な業務（参考）】

- （１）都立文化施設や文化事業における環境・基盤整備
 - ・東京都歴史文化財団の横断的取り組みとして、7 館 12 施設 1 機構
(<https://www.rekibun.or.jp/museum/>) による連携のもと、アクセシビリティ向上に関わる環境整備を推進
 - ・アーツカウンシル東京は、財団の本部として、設計・推進・統括業務を担当
 - ・芸術文化分野のアクセシビリティ向上に必要な人材の育成や戦略広報を展開
 - ・アクセシビリティ向上に関わるツールやプログラムの開発・配備、サービスの拡充及び研修等の実施
- （２）調査・検証・開発
 - 国内外の文化施設、NPO 団体、大学等と連携し、文化施設や文化事業のアクセシビリティを高めるためのモデル開発の推進
- （３）発信・ネットワークの醸成
 - ・事業の取り組みの発信、国内外の事例共有、ネットワークの醸成
 - ・「国際会議」や「国内会議」を隔年開催
- （４）クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー関連事業の実施
 - ・「TURN LAND プログラム」の実施